

考えるポイント

- ・日頃、新型コロナウイルスについてどのようなことに注目しているでしょうか？
- ・メディアで流れる情報・政治家のコメントはどのレベルでしょうか？
- ・新興国、貧しい国に新型コロナウイルスがもたらしている影響を考えているでしょうか？
- ・新型コロナウイルスについてどこかの国がリーダーシップを発揮できているでしょうか？
- ・米中の関係は今後どう推移するでしょうか？
- ・新型コロナウイルスが終息した後の日本、世界はどのようになるでしょうか？ 政治家はどうリードするでしょうか？
- ・子どもたちの命と将来を預かる先生としてどのような社会になって欲しいと考えますか？

インタビューは道傳 愛子（どうでん あいこ）.キャスター

NHK解説委員（国際情勢担当）. 上智大学 外国語学部 英語学科卒業後、NHK 入局。 米国コロンビア大学大学院留学、国際政治学修士号取得。 「NHKニュースおはよう日本」「NHKニュース9」キャスターなどを担当

パンデミック（pandemic）は、日本語的には“感染爆発”などと訳され、感染症や伝染病が全国的・世界的に大流行し、非常に多くの感染者や患者を発生することをいいます。語源はギリシャ語のパンデミアで、パンは「全て」、デミアは「人々」を意味します。

国際政治学者 アメリカ イアン・ブレマー(かつては USA の中枢にいた人物)

政治リスク専門のシンクタンク代表 『「Gゼロ」後の世界』を出版

Q 今回のパンデミックと世界の状況をどう読み解きますか？

今回のパンデミックは「Gゼロ世界」つまり指導者なき（指導するグループがない状態）世界で私たちが経験する最初の危機です。その結果としてこの危機に各国がバラバラに対応しています。協調性が欠けています。9.11の時、アメリカはブッシュ大統領を中心に団結しました。支持率は92%まで跳ね上がり、ヨーロッパ各国は揃ってアメリカを支持しました。当時、敵対していたロシアも

アメリカを支持して、アフガニスタンの米軍基地に協力しました。2008年（金融危機）では、ブッシュ大統領、オバマ大統領の下で団結しました。ヨーロッパも結束しました。アメリカはG20を作り、中国がアメリカのリーダーシップを支持したことで世界恐慌を避けることができたのです。2020年の今、最も深刻な危機が発生しています。それなのにアメリカ国民は団結していません。トランプ大統領の支持率は46%、9.11の時のブッシュ大統領の半分です。ヨーロッパとの協調もありません。アメリカが欧州からの入国を禁止した時に、EUは事前に知らされておらず、アメリカを非難しました。G7の協調行動もありません。G20の協調もありません。中国は素早く対応していますが単独です。アメリカはリーダーシップを発揮していません。経済的な打撃が大きな問題ですが政治的な問題はさらに大きいと思います。世界の秩序は変化するでしょう。

Q アメリカが指導力を発揮していないことに歯がゆさを感じているということですか？

（アメリカの指導力）そんなものはもはや存在しません。アメリカは国内的には、実効性のある財政政策や金融政策を実施しました。この点ではよくやっています。しかし、医療面での対応が遅れました。検査能力の欠如、病院の対応能力で後れを取りました。今はこの点に注目が集まっています。

しかし国際社会におけるアメリカの対応はゼロです。（アメリカのリーダーシップは）存在しないのです。「アメリカファースト」ということです。世界各国がバラバラに危機を克服しようとしている状況でこのことは将来 重大な影響を持つでしょう。

Q 今回の危機は、9.11や2008年の金融危機より深刻だとお考えですか。

その通りです。危機の規模がはるかに大きくなることは間違いありません。経済的影響 人命の喪失 ロックダウンの長期化はもっと深刻になるでしょう。この影響が国際社会では何倍にもなります。移動や医療用品 人員の面での協調が取れていません。ただ、日本 ヨーロッパのような豊かな国は国内経済の停止状況に対応するだけの資力があります。アメリカはGDPの10%に当たる額を景気刺激策に投入し さらに追加するでしょう。しかし発展途上国でも同じ支援が必要なのですがそれができません。例えばインドでは政府による国民の緊急支援はGDPの1%にとどまっています。10%は必要なはずですが それはどこから？ アメリカからも来ません 中国からも来ません。IMFの幹部は4兆ドルが必要と考えていますがそんなお金があるとは思えません。

ただでさえ混乱状態にある新興国や貧しい国は深刻な影響を受けることでしょう。日本やアメリカでは社会的距離を取ることが可能です。豊かな国はスペースがあるからです。しかし、インドでは社会的な距離を取るのには難しいです。国民の衛生状態は劣悪です。半年も雇用がない状態となれば、国民の生命を維持するための財政ももたないでしょう。ロックダウンが継続したら サプライチェーン グローバリゼーション。移動・観光に対する影響ははるかに深刻です。

国際社会は今、重大な問題に直面しているのです。

サプライチェーン(英: supply chain)とは、製造業において、商品の製造から販売まで全ての工程をひとつの連続したシステムとして捉える考え方のこと、および、そのような考え方のもとで捉えられた、一個のシステムとしての一連の工程のことです。「供給連鎖」と訳されることもあります。

Q 新興国と途上国の経済についてお話がありました。経済格差が貧しい側の国々ですか？

今の状況が続くと、世界の不安定化につながる可能性はいかがですか？

アメリカ、日本など豊かな国では多くの人々が苦痛を味わい亡くなったとしても社会不安が大きく広がるとは思いません。社会不安が大きく広がるとは思いません。新興国 途上国は別です。医療制度が不備な状態で不況になれば国民は家庭を守ることができなくなるでしょう。加えて今「石油戦争」が起こっています。原油価格は20ドルまで下がりました。原油で稼ぐ国はどうすればいいでしょう？ ベネズエラは原油生産コストは原油価格を上回っています。**そういった国から深刻な社会不安が広がることは容易に予想できます。**暴力 体制の変更や崩壊、そして過激化が広がることも。イスラム過激派によるテロの温床がイラクやアフガニスタン シリアといった国の不安定化にあったことは記憶に新しいです。今後何が起きるか それは人口が多く 国民を養う力が弱い国について考える必要があります。**さらなる過激化が進むでしょう。**

ブレマー氏のシンクタンクが発する毎年のトップ10リスク「今年は国際社会にとって大きな転換点となる」と予測

アメリカと中国の対立が激化するだけでなく、EU 諸国でも分断が進み景気が後退する可能性が高い、と指摘していた。

Q とても厳しい予想ですね。あなたは2020年のトップリスクに世界経済のサイクルをあげました。次の不況が始まるという警告です。今パンデミックが起きました。各国が団結して危機に立ち向かうのでしょうか？ それとも自国の利益を第1に行動するのでしょうか？

私は、自国が第1という「Gゼロ世界」に向かうと10年近く前に指摘しました。今年の初め 世界のトレンドとしては地政学的後退 景気の後退 そしてグローバリゼーションの分裂という現象が複合的に起こってしまいました。分裂はまずアメリカと中国のテクノロジーの分野で始まりました。今後サプライチェーン 製造業 サービス業に広がるでしょう。企業が従業員の数を大幅に減らす必要に迫られるからです。サプライチェーンが機能しなくなることに備えて消費者に近づきたいと考えるからです。アメリカの企業がサプライチェーンを国内に移すケースが増えるでしょう。ヨーロッパでも他の国でもサプライチェーンを強化するでしょう。**見通しは非常に厳しいです。**この先、**人類は地球規模の危機に対して以前のような強さを持たないでしょう。**例えばこの数週間気候変動は話題になっていません。今年はグローバル経済が縮小していることで炭素の排出量は減ってきます。だからと言って、2025年の削減目標に向けて何かが変わるわけではありません。道

筋は同じですが取り組みへの集中力が鈍ることになるでしょう。今年の初めあれだけ話題になったグreta・トゥーンベリさんは（自主）隔離となりました。今は、気候変動は話題にもなりません。それだけではありません。サイバー・セキュリティ 非対称（戦争）の脅威があります。AI バイオテクノロジーの倫理の問題にはグローバルな対応が必要です。今それがありません。不信感が募り自分のことばかり考えています。民族主義 ポピュリズムがはびこっています。問題の対応はとも困難です。

Q この重大な危機に国際社会が団結していないと、指摘されました。

米中対立のリスクも指摘されていますが、アメリカと中国は冷戦に突入するのでしょうか？

それはわかりません。ただ、米中の相互依存関係は弱くなるでしょう。テクノロジーの分野では冷戦が始まっています。中国の企業はアメリカに投資しないし、アメリカの企業は中国に投資していません。5G AI クラウド ビッグデータ 監視技術などで米中の分離が進み競争が激化しています。それがサプライチェーンや製造業 サービス業に波及すれば米中の相互依存が減り争いが起こらないという保証がなくなります。危険が大きくなっています。アメリカは中国非難を強めています。ペンス副大統領が新型コロナウイルスの危機を中国が知らせるのが遅すぎた、と批判しました。中国ももちろん被害を受けています。このウイルスが爆発的な流行を引き起こすとは思わなかったでしょう。しかし、対応のまずさ 爆発的流行には中国に責任があります。

今年選挙があるアメリカで危機対応を誤った場合トランプ大統領は（中国に）責任転嫁するでしょう。その時には、中国が格好の標的になります。今後、米中関係が悪化する可能性は大きいです。

「5G」 米中貿易摩擦が、世界経済に影を落とし始めている。特に、経済成長の鈍化が明確になってきた中国経済の先行きは、世界規模の景気低迷への引き金にもなりかねない。この米中摩擦の中心にいる中国の通信大手 Huawei（ファーウェイ）は、次世代通信規格である「5G」のカギを握る企業の一つだ。国家安全保障上の理由で中国通信機器大手の締め出しを進める米国は、友好国にも同様の措置を求める。しかし、Huawei は「5G」の世界では最先端企業のひとつであり、同社の締め出しは各国の「5G」戦略に修正を迫ることになるとの見方もある。

Q 今の中国は 10 年前とは違います。リーダーシップに欠けた国際社会で中国は医療援助を提供しています。援助を受ける国は当然中国への感謝を忘れないでしょうね。

その通りです。中国は国際社会に積極的な外交とプロパガンダの攻勢をかけて危機そのものの責任を否定しています。世界中の医療チームを派遣した数のマスクと検査キットを提供しています。特にアメリカと同盟関係にありパンデミックの中心であるヨーロッパで積極的です。今回の危機が終息した時に、世界で中国の存在感は確実に大きくなります。国際的リーダーシップという点でアメリカの存在感はありません。トランプ大統領は一切役割を果たしていません。G20 を招集する試み

や サプライチェーンの調整 データ収集の取り組みが一切ありません。リーダーシップという点で、アメリカの存在感はゼロです。

Q コロナ後の世界秩序はどうなっていると思いますか？

格差が大きく広がっていると思います。中国以外の新興国が危機の対応を誤るからです。アメリカ国内では「まるでイタリアのようだ」とか「ドイツや韓国のようにだ」という見方が出てくると思います。ワシントン州は韓国に似ていて、ニューオリンズはイタリアのようだ、といった見方です。アメリカはもともと格差が大きい国ですが、今後さらに広がるでしょう。ヨーロッパも同じです。持つ者と持たざる者の差が大きくなるでしょう。ハイテク企業の力が大きくなり実店舗型の企業は倒産するでしょう。アメリカやヨーロッパのように強く豊かな国は持ちこたえるでしょうが、**貧しい国々は大きな打撃を受けるでしょう。**

人々への提言とは？

Q この危機を乗り切るために社会のあり方や私たちの行き方を考え直す必要があるでしょうか？

犬を飼うべきだと思います。

Q どういう意味ですか？

犬と毎朝、瞑想するのも良いでしょう。犬はいいですよ。気が紛れますし、一緒にいると気持ちが落ち着きます。バカバカしいと思うかもしれませんが実効性があります。（この危機の間）いつもと違うことをする必要があります。人間性を失ってははいけません。

私は9.11の時にニューヨークにいました。恐ろしい出来事でしたがニューヨークは団結しました。皆が同じ体験をしたからです。人々は通りに出て 友人に家族に手を差し伸べました。しかし今回は 人々はアパートの中に安全を求めています。人間性が奪われています。人は社会的動物です。繋がりたいが必要です。スクリーン上（パソコンの画面）ではかきません。仮想現実では不可能です。国際宇宙ステーションで1年を過ごした宇宙飛行士の精神的ダメージを私たちは見てきました。同じことが今 世界中の数百万人、数千万人に人々で起ころうとしています。この先 個人レベルで対処する方法が必要になるでしょう。

ユヴァル・ノア・ハラリ イスラエルの歴史学者 4月7日収録

人類の歴史を壮大なスケールで描いた『サピエンス全史』を執筆。『ホモ・ゼウス』では人類が直面する課題を描いて世界中のベストセラーになった。

今回の危機は、民主主義にとって大きな挑戦であり私たちがどんな社会で生きていくことになるのか重要な選択を迫られることになる。

Q このインタビューは日本の首相が緊急事態宣言を発令するのと同じ日になりました。私たちは今、新型コロナウイルスが世界を変える歴史上の決定的な瞬間にいると思いますか？

はい、その通りです。今、歴史の変化が加速する時代に突入しようとしています。次の2～3ヶ月の間に私たちは世界を根底から変える壮大な社会的・政治的実験を行うことになるでしょう。例えば、雇用市場です。コロナ危機で組織労働者のさらなる弱体化が進むかもしれません。インターネットで仕事を請け負う「ギグ・エコノミー」で働く人には組合もなく保護も受けられません。このような人が増えるか？ その逆もあり得ます。そして多くの企業が政府に救済を要請しています。この緊急事態において、自由市場にだけ頼ることができないのは誰の目にも明らかです。一部の国は、経済システムと雇用市場をより良いものに作り変えるいい機会となるでしょう。私たちは選択肢が数多くあることを理解すべきです。そしてそれらは政治的選択です。これは事前に決まっていることではありません。ウイルスが私たちに代わって決断するわけでもありません。それは政治家の仕事であり、政治家を監視する市民の仕事です。

メディアと一般の人たちには、ウイルスの流行にだけ関心を持つべきではない、と言いたいです。「今日は感染者が何人だった」とか「病院に何台の人工呼吸器がある」といった話は重要ですが政治状況にも焦点を当てるべきです。

Q コロナウイルスと権力についてうかがいます。このような緊急事態で政府はこれまでないほどの権力を手にすることができます。これは何を意味するのでしょうか？

全体主義的な体制が台頭する危険があります。ハンガリーが良い例です。形式的にはハンガリーはまだ民主国家ですが、オルバン政権は独裁的とも言える権力を握りました。それも無制限の独裁的権力です。緊急事態がいつ終わるかはオルバン首相が決めます。他の国にも同様の傾向があります。非常に危険です。通常、民主主義は平時には崩壊しません。崩壊するのは決まって緊急事態の時なのです。

新型コロナウイルスとの戦いの中で民主主義の危機が懸念されているのが、ハンガリーです。オルバン首相率いる与党は、感染拡大を受けて非常事態法を議会に提出し可決しました。首相の権限が拡大され、議会の承認なしに非常事態宣言の無期限延長できるようになりました。さらに、感染防止を妨げる嘘の情報を流した者には最高5年の禁固刑が科されます。メディアへの威嚇に利用されかねないと、国内外から批判の声が上がっています。

ハラリ氏の母国イスラエルでは、この危機の最中に行われて総選挙でネタニヤフ首相の支持勢力が過半数を割りました。暫定首相になったネタニヤフ氏は、感染防止対策を理由に野党が多数を占める議会の閉会を命じようとしていました。これまで政治的な発言を控えてきたハラリ氏ですが、この動きには批判の声をあげました。

コロナは民主主義を殺した。ネタニヤフは選挙に敗れたのに立法府を閉じ市民に家に留まるよう緊急命令を発した。これは独裁政権だ。(ツイート)

これに対しネタニヤフの息子ヤイール氏は強く反発
あなたは専門分野では尊敬されているかもしれないが政治に関しては完全に愚かだ。あなたは嘘つきだ。そしてあなたの国イスラエルを憎んでいる。(ツイート)

結局、国民から大きな反発を受けネタニヤフ氏は議会の閉鎖を断念しました。ハラリ氏は、今も母国イスラエルの行方を心配しています。

この時は非常に危険な瞬間でした。ウイルスの流行と闘うという口実を使った政治的なクーデターでした。実際、首相は「議員の健康を守るために議会を閉鎖する」と言いました。とんでもない話です。幸いにも国民やメディア、対立する政党から大きな反発があつて首相は閉鎖を撤回しました。いま議会は再開され、非常時を乗り切るための大連立工作が進んでいます。しかし、一時はイスラエルがハンガリーのようなコロナ独裁国になる危険もありました。コロナウイルスと闘うという口実の独裁制です。

一人の人物に強大な権力を与えると、その人物が間違った時にもたらされる結果は、はるかに重大なものになります。独裁制は効率が良いし迅速に行動できます。誰とも相談する必要がないからです。しかし、間違いを犯しても決して認めません。間違いを隠蔽します。メディアをコントロールしているので隠蔽するのが簡単だからです。他の手法を試すのではなく、間違いをさらに重ねます。そして責任を他の人に転嫁します。民主主義で大切なのは、政府が間違いを犯した時に自らそれを正すことです。そして政府が間違いを正そうとしない時に、政府を抑制する力を持つ別の権力が存在するという事です。

イスラエルでは1948年(第1次中東戦争)に出された緊急事態の宣言がまだ続いています。多くの緊急命令がいまだに法的に有効です。緊急措置が適用されるのは危機の間だけで、危機がさればいつも通りに戻ると思いがちですが、それは幻想です。緊急時だからこそ民主主義が必要です。チェック&バランスが維持されなければならないのです。政府を権力につなげる人だけでなく、国民すべてに奉仕させるために監視が必要なのです。

Q イスラエルは緊急事態の時に情報をどのように扱っているのでしょうか？ イスラエルは治安機関に監視技術の運用を容認していますね。

大変憂慮すべき事態だと思います。特にそれを行なっているのが治安機関だからです。私は監視を支持しますが、このタイプの監視は警察や秘密警察に依存しないように神経をとがらなせなければなりません。それは独立した保健部門の機関が実施すべきです。警察とのつながりが無い機関です。

新型コロナウイルスの拡大を防ぐため、イスラエル政府が用いたのはテロリストの行動を追跡するために国中に張り巡らされた世界最先端の監視システムです。

今回の措置では

感染者（疑われる人物も）の携帯電話の番号が保健省から警察に送られます。

警察はその人物の位置情報を遡り、過去の行動履歴を割り出します。さらにその人物の近くにいた人物を割り出し、接触者として特定していきます。

保健省が必要と判断すれば、警察は接触者を収容し、隔離することもできるのです。

私は監視には反対していません。むしろ感染の拡大を食い止めるために新しい技術を利用することには賛成しています。しかし監視は政府だけでなく一般市民にも2つの方法で力を与えるべきだと思います。

第1に、私自身や他の人々の身体の状態に関するデータを政府が集めて密かに保管することは許されません。私には自分の健康状態に関するデータにアクセスする権利が与えられるべきです。私自身の健康管理についてよりよい判断を下すためにです。また自分の健康データにアクセスできれば政府が採用している政策が有効か否かを自分の身をもって試すことができます。これがイランのように全体主義的な国家だと死者の数や今回の感染症拡大に関して国が信用に足るデータを公表しているかどうかさえ国民は知る由もありません。データを透明性を確保されるべきです。

第2は、政府の決定にも透明性がなければなりません。私は自国の政府の決定を監視できなくてはなりません。アメリカの交付金の分配状況を例にとりましょう。政府は先日、2.2兆ドルの救済策を決めました。でも、その交付を受け取るのは誰でしょう？ 私がアメリカの市民権をもし持っていたらこうした金がどこに行くのでしょうか？ この金をもらえるのは誰でももらえないのは誰なのかを監視する力が欲しいと思うでしょう。ですから監視は両方向であるべきです。

これが市民の持つべき力です。このような情報にアクセスできれば、市民はより大きな力を持つというわけです。

そして、もし社会的距離を取ることや手を洗うことの必要性を納得してもらいたいならば、市民を適切に教育し信頼できる情報を提供した上で、市民が自らの意思で正しく行動してくれると信頼する方がずっと良いやり方です。

Q 権威主義的、独裁的な監視に代わるものとして「民主主義的な監視」が可能だという研究者がいます。「民主主義的な監視」という言葉は自己矛盾ではないですか？

そんなことはありません。十分な知識を持ち自分自身の動機付けを持つ国民は、警察力に頼る国民よりもはるかに効果的です。これは緊急事態においても当てはまることです。例えば今回の危機で非常に重要な行動となった手洗いについて考えてみましょう。数億の国民に手洗いを強制するには

2つの方法があります。1つは警察またはカメラをすべてのトイレに配置することです。国民を見張って手を洗わなかったら罰するというやり方です。

もう一つのやり方は、学校で良質の科学教育を通じてウイルスや細菌について理解させることです。ウイルスがどんなメカニズムで疾患を引き起こすかを教えるというやり方です。手を洗うことでウイルスや細菌を殺したり、洗い流したりできるとメディアを通じて説明するやり方です。その上で正しい判断をすることを国民に委ねるのです。誰の目にも明らかだと思いますが、今回の危機においては教育や個人的な動機付けの方がトイレに警官を配置するよりもはるかに有効です。それはウイルスと闘う他の方法にも当てはまることです。国民が進んで協力すればその方がはるかに効果的です。そのためには教育が必要です。そして政府が提供する情報を信頼できることが必要です。私は監視は支持しますが全体主義的な監視は支持しません。監視についてはそれが常に双方向に働くことを念頭に置かねばなりません。政府が国民の監視をするだけでなく、国民が政府を監視するという側面です。例えば政府が腐敗しないように監視する良い政策に転換するように見張るといった具合です。独裁国家にあっては監視が一方通行なのです。政府が国民を監視して政府の決定は国民から隠すのです。政府から国民に伝わる情報はありません。それはとても危険です。私は双方向である場合にのみ監視を支持します。

Q 信頼してもらおう、あるいは信頼を回復するにはどうしたら良いのでしょうか？ 信頼は何もないところからは生まれませんよね。

一つとても重要なのは科学と研究機関への信頼です。ここ数年ポピュリズムを奉じ責任に欠ける政治家たちが世界中に登場しました。そして意図的に人々の科学や大学、研究機関への信頼をおとしめようとしてきました。一部の政治家は科学者に「浮世離れしてエリート」とのレッテルを貼り権限を与えるな、と主張しました。中には荒唐無稽な陰謀論を拡散した者もいます。ワクチン接種に反対したり地球は平面だと主張する人まで現れました。しかしこの緊急事態に権威ある科学者への信頼を覆すことがどれだけ危険かははっきりしました。緊急事態に直面し、幸いにもほとんどの国に人々、政治家さえ科学が最も信頼できる拠り所だと感じています。疫学の専門家からの感染症についての情報を私たちは真剣に受け止めています。気候変動の研究者が温暖化について警告した時も、同様の信頼を持って受け止めるべきです。

Q あなたは人々のエンパワーについて話されました。今の状況は市民に突きつけられた試練だと思います。市民の側にはどのような行動が求められますか？ 何かを待っている余裕はないはずですが。

エンパワーメント（エンパワメント）とは、個人や集団が本来持っている潜在能力を引き出し、湧き出させることを意味しており、「権限委譲」や「能力開花」と訳されます。組織における自律性の向上、社員が持っている能力の発揮、意思決定の迅速化といったメリットが期待できます。

確かにこのような状況では、市民に多くの責任が生じます。一つは、情報や行動のレベルです。信じるべき情報を慎重に吟味し科学に基づいて情報を信頼すること。そして科学的な裏付けのあるガイドラインを実行すること。市民が科学的な指針に従えば、緊急時に独裁的な手法を取る必要性がなくなります。これはとても重要です。私たち一人一人の務めは現在の状況や、誰を信じるべきかについて知識をつけ、大学の保健省など信頼に足る組織から出された指針を忠実に守り陰謀論のわなに陥らないことです。

この危機的状況の中で市民に課せられた2つ目の務めは、政治状況に目を光らせておくことです。今もこの瞬間にも極めて重要な政治決定が行われています。その決定に参加し、政治家たちの行動を監視することがとても重要です。

人々への提言とは？

Q 長い人類の歴史「サピエンス全史」から見て、この世界的なパンデミックが持つ意味とは何でしょうか？

人類はもちろん、このパンデミックを乗り切るでしょう。私たちはこのウイルスよりずっと強いし過去にももっと深刻な感染症を生き抜いてきた経験があります。その点に疑問の余地はありません。この感染拡大のインパクトが究極的に何をもたらすのか、あらかじめ決まっています。それは私たちにかかっています。結末を選ぶのは私たちです。もし自国優先の孤立主義や独裁者を選び科学を信じず陰謀論を信じるようになったら、その結果は歴史的な大惨事でしょう。多数の人が亡くなり経済は危機に瀕し政治は大混乱に陥ります。

一方でグローバルな連帯や民主的で責任ある態度を選び科学を信じる道を選択すれば、たとえ死者や苦しむ人が出たとしても、後になって振り返れば人類にとって悪くない時期だったと思えるはずです。私たち人類はウイルスだけでなく自分の内側に潜む悪魔を打ち破ったのだ。憎悪や幻想、妄想を克服した時期として真実を信頼した時期として以前よりずっと強く団結した種^{しゅ}になれた時期として位置付けられるはずです。

ジャック・アタリ フランスの経済学者・思想家（歴代の政権の顧問）

アタリ氏の2009年の予告 市場のグローバル化や自由な流通により今後10年で 破滅的なパンデミックが発生する恐れがある。パンデミックは多くの個人・企業・国家のサバイバルにとって非常に大きな脅威である。

Q あなたはパンデミックが起きると2009年に警告しています。今回のことは驚くに当たらない、予告した通りのことが起きたとお考えですか？

ええ、10年前に確かにパンデミックのことを書きました。確率が低くてもそうした声には耳を傾けるべきだし、リスクが高い時には行動を起こすべきなのです。私たちの生きている時間は短いのですから。

Q このパンデミックは私たちに何を警告しているとお考えですか？

多くのことです。衛生、社会の透明性・・・そしてパンデミックの警告を世界で共有するルールづくりの重要性について。

Q パリでは封鎖が実施されていますが感染拡大が終息する兆しは依然見えません。パリ市民はこの困難にどう対処していますか？

フランスは規律を守る中央集権型の国家で 政府がひとたび決定すれば皆最善を尽くします。もちろんとても困難な状況ではありますが・・・日本やフランスでも多くの人たちが今もなお任務に就いていることに感謝したいと思います。医療や食料品 流通 メディアなど 仕事をしている大勢の人が家の外へと働きに出ています。例えばゴミの回収や病院の清掃を行う人などもそうです。彼らは私たちの都市が生き延びる上で 絶対的に必要な仕事を担っています。また、社会階級や社会的要求の違いによっては困難も生じます。都市が封鎖されて家に閉じ込められれば裕福な人は家にいれば良いでしょう。しかし、狭い場所に詰め込まれる人にとっては困難が伴います。

Q 新型コロナウイルスは何を生むのか？

今 世界を襲っている危機を乗り越えることほど緊急な課題はない。もし国家がこの悲劇をコントロールできないと証明されてしまったら “市場”と“民主主義”という2つのメカニズムは崩壊してしまうだろう。

Q 経済学者のあなたから見て世界経済に与える打撃はどれほど深刻になるとお考えですか？

最悪の事態を避けるためには最悪を予想する方が良いと思います。私たちは今 1929 年 (大恐慌) 以降、最悪の危機に陥っており、2008 年 (金融危機) と比べてもはるかに深刻です。世界経済の損失は GDP で 20% に及ぶかもしれません。プラス 1% とか マイナス 1% ではなく・・・もちろんこれは **世界経済の最も重要な牽引力の 1 つであるアメリカがほとんど備えなしにこの危機的事態に突入していることと明らかに関係しています。** この損失は決して小さくは済まないでしょう。もちろん各国の政府は状況を改善するために中央銀行による金融政策 思い切った財政などできることはすでに すべてやっています。うまくいっているとかはともかく 世界中で多くの支援が行われていることは確かです。ただし それは結果を先延ばししているに過ぎません。レストラン ホテル 店舗 スタジアムや航空業界など人々が集まることが予想される業種はとても大きな影響、10% などではなく 60%、あるいはそれ以上の影響 (ダウン) を受けるでしょう。

Q とても恐ろしい見通しですね。あなたはさらに第2波 第3波にも備えるように警告されています。この状況はあとどれくらい続くのでしょうか？

私は医者ではないのでそれはわかりません。ただ過去の例を見るとの最初の波が封じ込めや都市封鎖によってうまく収束した時に、外出して感染するという間違いを多くの人が犯しています。1918年のヨーロッパではスペイン風邪と呼ばれた伝染病が蔓延しました。第1波ですでに多くの犠牲者を出しましたが、外出するタイミングが早過ぎて第2波ではさらに多くの犠牲者を出してしまいました。

Q 私たちは医者でもなければ未来を占う水晶玉もお持ち合わせていません。ですがコロナ後の世界はどうなっているのでしょうか？ 最悪のシナリオとは？

最悪のシナリオは世界的な恐慌 失業 インフレ ポピュリストによる政府の誕生、そして長期不況による暗黒時代の到来です。そうならないとは思いますが、最悪のシナリオが起こるとすればさっき言ったように早く外出し過ぎて第2波に遭遇し経済に打撃を与えるということでしょう。他にも非常に悪いシナリオが起こり得ます。新しいテクノロジーを使って国民の管理を強める独裁主義の増加です。例えば中央ヨーロッパでハンガリーなどの政府がしたようにパンデミックを独裁主義に向かうための口実にするのです。それが1つの脅威です。

ポピュリズム(英: populism)(平民主義)(公民主義)(人民主義)(大衆主義)とは、一般大衆の利益や権利を守り、大衆の支持のもとに、既存のエリート主義である体制側や知識人などに批判的な政治思想、または政治姿勢のことである

Q 緊急事態が民主主義に与えるインパクトについてお尋ねします。緊急時にはたとえ民主的な指導者であっても前例のない権力を手に入れることがあり、大衆も厳しい政策を支持することがあります。それは民主主義にとってどのような意味を持っていますか？

確かに安全か自由かという選択肢があれば、人は必ず自由ではなく安全を選びます。それは強い政府が必要とされることを意味します。しかし、強い政府と民主主義は両立しうるものです。第2次世界対戦のさなかのイギリスが良い例です。強力な政府を持ちながら民主主義でもありました。

Q このパンデミック中で差別や分断が以前より目立ってきているのではと感じています。それには同感されますか？

はい。また、経済的な孤立主義が始める危険もあります。他の国には依存しすぎるべきでない、というのは一面の事実です。例えば「どうかエチオピアにマスクを売ってくれ」と中国などに懇願しなくても済むように。しかし、だからと言って国境を閉ざしてしまうべきではありません。私たちはもっとバランスの取れた連隊を必要としているのです。

利他主義

パンデミックという深刻な危機に直面した今こそ「**他者のために生きる**」という人間の**本質に立ち返らねばならない**。協力は競争よりも価値があり、人類は1つであることを理解すべきだ。利他主義という理想への転換こそが人類のサバイバルの鍵である。

「**ポジティブに考えて生きよう**」「**生命万歳!**」

Q あなたのブログをずっと読んでいますが、その一貫した**楽観主義**が印象に残りました。例えば「**生命万歳!**」とか、「**ポジティブに考えて生きよう**」とか。その**ポジティブイズム**や**楽観主義**はどこから出てくるのでしょうか？

まず、**ポジティブイズム**は**オプティミズム (楽観主義)**とは異なります。例えば、**観客として試合を見ながら「自分のチームが勝てそうだな」と考えるのが楽観主義**です。一方、**ポジティブイズム**は**自らが試合に参加し「うまくプレーできればこの試合に勝てるぞ」と考えること**です。そういう意味では、私は**ポジティブ**であると言えるでしょう。私は人類全てがこの試合に勝てると考えています。(おそらく、人類全体で戦わないといけない、という趣旨) **自分たちの安全のために最善を尽くし、世界規模で経済を変革させていくことができれば、きっと勝てるでしょう。**

今の状況は私が「**ポジティブ経済**」と呼ぶものに向かうとても良いチャンスだと思っています。**ポジティブ経済**とは、**長期的な視野に立ち私が“命の産業”と呼ぶものに重点を置く経済**です。生きるために必要な**医療 教育 文化 情報 研究 イノベーション デジタル**などでの産業です。生きるのに本当に必要なものに集中することです。

Q **共感**とか**利他主義**について語っておられますか？ **人々がパニックになって買占め**をしたり**国境を封鎖**したりする中で、**利他主義**とはどのような意味を持つのでしょうか？ あなたのことを「**無私の聖人**」のようにいう人もいるのでは？

いえいえ、**利他主義**は**合理的利己主義**に他なりません。**自らが感染の脅威にさらされないためには、他人の感染を確実に防ぐ必要なあります**。利他的であることは引いては自分の利益となるのです。また、他の国々が感染していない事も自国の利益になります。例えば日本の場合も世界の国々が栄えていれば市場が拡大し、長期的に見ると**国益**に繋がりますよね。**利他主義**とは**他者の利益のために全てを犠牲にすること**ではない。

Q **他者を守る**ことこそが**我が身を守る**ことであり、**家族 コミュニティ 国** **そして人類の利益**にもつながるのですね。

その通りです。利他主義とは最も合理的で自己中心的な行動なのです。今回の危機は乗り越えられると思いますよ。薬やワクチンが見つかるかわかりませんが、数ヶ月の間には、打ち勝てるでしょう。医師ではないので何ヶ月かかるかはわかりませんが。

ただし、長期的に見るとこのままでは勝利は望めません。**経済を全く新しい方向に設定し直す必要があるのです。**戦時中の経済では自動車から爆弾や戦闘機へ企業は生産を切り替えなければなりません。今回も同じように移行すべきです。ただし、爆弾や武器を生産するものではありません。**医療機器 病院 住宅 水 良質な食料などの生産を長期的に行うのです。多くの産業で大規模な転換が求められます。**果たして私たちにできるかわかりません。**パンデミックの後 人々が再び以前のよう行動様式に戻ってしまうかもしれないから。**

Q「歴史を見ると 人類は恐怖を感じる時にのみ 大きく進化する」と以前おっしゃっていました。私たちはまさに今、進化するためにこれまでの生き方を見直すべきだと思いますか？

まさしくそう思います。前進するために恐怖や大惨事が必要だというのでもありません。私は破滅的状况は望みません。むしろ魔法によって今すぐにでもパンデミックが終息して欲しいです。しかし、良き方向に進むためには、今の状況をうまく生かすしかありません。利他的な経済や社会、つまり私が「ポジティブな社会」「共感のサービス」と呼ぶ方向に向かうために。しかし、人類は未来について考える力がとても乏しく、また忘れっぽくもあります。問題を引き起こしている物事を忘れてしまうことも多いのです。**過去の負の遺産を嫌うため それを取り除かれるとこれまで通りの生活に戻ってしまうのです。**人類が今、そのような弱さを持たないように願っています。**私たちは全員が次の世代の利益を大切にする必要があります。それがカギです。**誰もが親として、消費者として、労働者として、慈善家として、そしてまた一市民として投票を行う時にも、**次の世代の利益となるよう行動を取ることができれば、それが希望となるでしょう。**